

やまぎん

# アジアニュース

経済月報  
No.442 掲載分  
平成 24 年 2 月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288  
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



【釜山支店】

## 「『2012 年麗水(ヨス)国際博覧会』に行こう！」

### 1. はじめに

今年 5 月から約 3 ヶ月間にわたって、韓国の全羅南道麗水市で国際博覧会が開催されます。麗水市は、朝鮮半島の南岸中央部に位置する人口約 30 万人の地方都市で、海上国立公園となっている多数の島々が見渡せる景色はその名のとおり美しく、日本の瀬戸内海に浮かぶ島々の様子とよく似ています。食べ物は刺身や牡蠣などが有名で、海の幸にも恵まれています。

今回の博覧会は、日本の愛知・中国の上海に続く東アジアでの開催で、テーマが「海洋」と「沿岸」であることから、世界有数の海洋国家である日本にも重要な役割が求められています。

博覧会の開催に向けて、現地では急ピッチでインフラ整備や関連施設の建設が進められており、今年の韓国の一大イベントとして、国を挙げて成功に向けて取り組んでいます。

この麗水国際博覧会の見どころや交通アクセスについて紹介します。

### 2. 麗水国際博覧会の概要

#### (1) 概要

項目	内容
名称	2012 年麗水国際博覧会 ( EXPO 2012 YEOSU )
会期	2012 年 5 月 12 日 ~ 8 月 12 日 ( 93 日間 )
場所	大韓民国全羅南道麗水市
展示面積	約 25 万㎡
テーマ	「生きている海と沿岸：資源の多様性と持続可能な活動」
参加表明国	106 ヶ国、9 国際機関 ( 2011 年 12 月現在 )
入場者数	約 800 万人 ( 目標 )

#### (2) 見どころ

テーマ館

本博覧会のメイン会場では、人類と海の関わりや、21世紀のエネルギーとして注目される「ブルーテクノロジー」を中心に展示されます。「テーマ館」の2階に設置される OCBPA (Ocean and Coast Best Practice Area) では、人類が海で成し遂げてきた偉業を紹介すると共に、人類が海と共生しながら発展する未来の姿を示すスペースとなっています。

「The Big-0 (Ocean)」(ザ・ビッグ・オー)

韓国で初めて海上に建設された複合海洋イベント空間で、ボリューム感のある曲線美が海岸線と調和した建物です。この海上ステージでは、3,700回以上の各種公演とレーザーショーなどが開催されます。



「The Big-0」(ザ・ビッグ・オー)(完成イメージ)(出所：経済産業省広報資料)

#### 韓国館

海と共に成長する海洋大国としての未来のビジョンが示される主催国のパビリオンです。カーボンニュートラル<sup>(\*)</sup>の未来型の建物に、韓国ならではの趣と情熱が表現されます。閉幕後は、麗水国際博覧会記念館として使用される予定です。

#### その他

100ヶ国を超える参加国が出展して最先端の技術と文化を紹介する「国際館」、沿岸に生息する生き物を観察できる体験型的水族館「海洋生物館」、80音階のパイプオルガンをモチーフにした高さ55mの「スカイタワー」など注目すべきパビリオンが目白押しです。3次元立体ディスプレイ「エキスポデジタルギャラリー」は、「The Big-0」と展示館を連結する600mの通路に展示された海洋芸術空間となり、来場した観客を驚かせることでしょう。

(\*)カーボンニュートラル・・・排出される二酸化炭素などの温室効果ガスと、植林などで吸収される温室効果ガスの量が同じであること、またその状態

#### (3) 日本館の出展

日本館は、博覧会場の国際館太平洋ゾーン(1F)に約1千㎡の規模で出展します。今回の博覧会では、昨年3月に東日本大震災により未曾有の地震と津波に見舞われた経験を基

に震災の全体像をレポートするとともに、日本人がこの自然の脅威をどのように捉え、また、海とどのように共生してゆくのかを世界に伝え、復興・再生に向けて歩んでいる姿勢を紹介することをテーマとして掲げています。

日本では2005年に日本国際博覧会（愛知万博）を開催しており、隣国である韓国での今回の国際博覧会にも積極的に参加し、日本として強いメッセージを発信していく予定です。なお、会期中の6月2日（土）は「Japan Day」で、日本の代表的な文化芸能催事が行われ、海の貴婦人として親しまれている「海王丸」も会場に寄航する予定です。

#### 日本館の出展内容

ゾーン番号	内容
ゾーン1(プレショー)	美しい日本の海で起こったこと
ゾーン2(メインショー)	東日本大震災から立ち上がる日本の姿
ゾーン3(ポストショー)	海と共に生きる日本の技術

#### 3. 会場への交通アクセス

会場の麗水市へのアクセスは次の通りです。

(1) ソウル市からのアクセス(約400km)

- ・ KTX(高速鉄道) ... 約3時間
- ・ 飛行機 ... 約1時間
- ・ 高速バス ... 約4時間30分

(2) 釜山市からのアクセス(約180km)

- ・ 高速バス ... 約2時間30分

(3) その他

- ・ 博多港 麗水港 高速船「ビートル」... 約3時間45分(博覧会開催中週3回運航)
- ・ 下関港 光陽港 大型旅客船「光陽フェリー」... 夕方出港翌朝到着(週3回運航)



韓国地図(麗水市への交通アクセス)  
(出所: 経済産業省広報資料)

---

#### 4. おわりに

麗水国際博覧会は、これまでの広報活動が十分とは言えず、隣国である日本での認知度は決して高くありません。会場のある全羅南道は、韓国の中でも歴史的に発展が遅れてきた地域で、韓国政府としても今回の博覧会を契機に地域間格差の是正に繋げたいと考えています。交通アクセスの混乱や宿泊施設の確保が懸念されていますが、多数の観光客を迎え入れることができるように、最終的な整備を進めているところです。

博覧会の会期は3ヶ月間と短期間ですが、これまでの他の博覧会と同様に、「The Big-0」を始めとして趣向を凝らしたパビリオンは見どころ満載です。また、数十年先の海と人間の関係にスポットを当てて、万博会場を未来の低炭素生活のモデル都市として運営する予定で、環境の保全にも積極的に取り組んでいます。

震災を経験した日本としても、人と海との新しい関係の在り方を発信していく良い機会となり、韓国と日本の友好関係の構築にも繋がっていくことでしょう。ぜひ、この機会に麗水国際博覧会に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

<参考>

・2012 麗水世界博覧会公式ホームページ <http://jpn.expo2012.kr/main.html>

以 上